

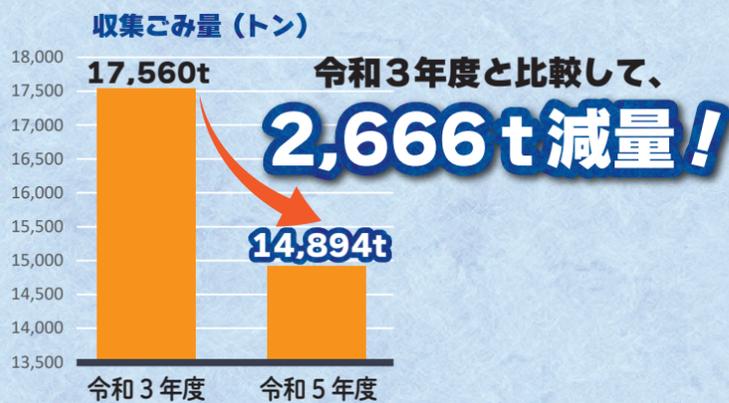


Let's Recycle!

発行：武蔵村山市環境部ごみ対策課
令和6年11月

令和5年度のごみ量をお知らせします

皆様のご協力のおかげで、令和5年度の武蔵村山市での収集ごみ量は、約14,894 t / 年となりました。市民一人・1日あたりでは573.3 g / 人・日に換算されます。有料化・戸別収集実施前の令和3年度と比較したグラフは下図のとおりです。



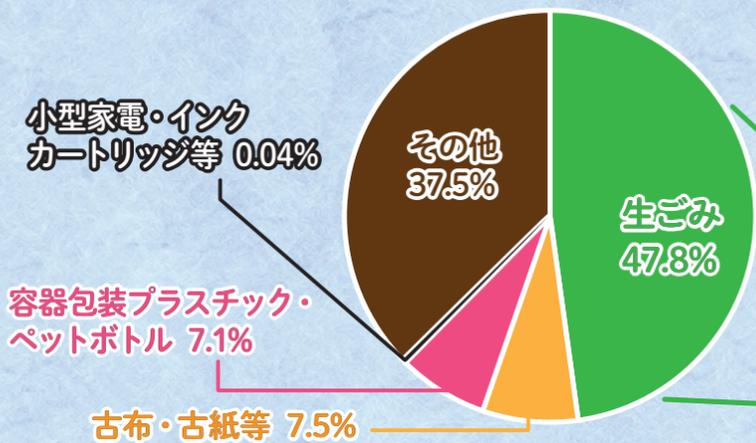
【一人・1日あたりごみ量の算出方法】

収集ごみ量 ÷ 各年度の日数 (令和5年度は366日) ÷ 各年10月1日時点の人口をグラムに換算。小数点2位は四捨五入しています。

ごみ減量のヒントを探る～最新の組成分析調査から～

令和6年2月に組成分析調査※1を実施しました。今回は可燃ごみの調査結果からごみ減量のヒントを探ってみましょう!

可燃ごみ内訳 (重量比※2)



※1 市内から出るごみの一部を開封し、ごみの内訳等を調べる調査
※2 一部の値で小数点2位以下を四捨五入しているため、合計値は100にはなりません

可燃ごみ以外のものが混入している!

ペットボトルや容器包装プラスチック (食品トレイ) 等、可燃ごみ以外のごみや資源物も混入されており、分別の徹底や拠点回収スポットを利用することで、さらなるごみ減量につながります。

可燃ごみは、約半分が生ごみ!

日本の食品ロスは、年間で472万tとされています。
※令和4年度推計値
生ごみの内訳は以下のとおりです。

食べ残し	4.8%
調理くず・野菜くず	34.7%
未利用食品 (手つかずのまま捨てられた食品)	8.3%

分別の徹底や拠点回収スポットを利用してごみ減量を進めることで、皆様のお財布と環境に優しい社会を目指しましょう!

次のページでは、市内の拠点回収スポットをご紹介しますので、ぜひご活用ください!引き続き、皆様のご協力をお願いいたします。

おでかけついでに資源化しよう!

市内の拠点回収スポット



エコショップ（ごみ減量協力店）

市では、ごみの減量や資源化に積極的に取り組んでいる店舗を、「武蔵村山エコショップ」として認定しています。今回はエコショップの取組のひとつである、資源物の店頭回収を行っている店舗をご紹介します。ぜひ、お買い物の参考にしてください。

店名	所在地	ペットボトル	食品トレイ	スチール缶	アルミ缶	牛乳パック	その他
TAIRAYA 武蔵村山店	榎 3-113-6	●	●	●	●	●	
いなげやむさし村山店	学園 3-29-1	●	●			●	ペットボトルキャップ
いなげやフードランド残堀店	残堀 2-9-1	●	●			●	ペットボトルキャップ
ダイエー武蔵村山店	伊奈平 3-36-1	●	●		●	●	段ボール
オザム村山店	本町 2-80-6		●			●	
フーズマーケットさえき大南店	大南 3-133-1	●	●			●	
イオンスタイルむさし村山	榎 1-1-3	●	●		●	●	

【ご利用の際は】

資源物の店頭回収は、店舗と利用者の信頼で成り立っています。

店頭回収を利用する際は、お店で定めているルールを守ってご利用ください。

エコショップ
全店舗の紹介
はこちら >>



毎月第3週はフードドライブ! (未利用食品の回収)

お歳暮やお中元でもらった贈答品や備蓄品など、ご家庭で余っている未利用食品はありませんか? 市や民間企業でフードドライブを実施しています!

①ごみ対策課窓口

本町1-1-1 武蔵村山市役所2階

実施期間

毎月第3週の平日

午後8時30分から午後5時まで

②イオンモールむさし村山

榎1-1-3 2階イオンフォメーション前

実施期間

毎月第3週の金曜日から3日間

午前10時から午後9時まで

寄付できる 食品の条件

- 未開封で包装や外装が破損していないもの
- 賞味期限が明記されており、1か月以上先のもの
- 包装や外装を他のものに移し替えていないもの
- 瓶詰食品でないもの
- 生鮮食品でないもの

市ホームページはこちら >>



最新情報

毎月第3週目は、フードドライブウィーク!



過去情報

フードドライブにご協力いただきありがとうございました!

使用済小型電子機器 回収ボックス

「使用済小型電子機器回収ボックス」で、不燃ごみ（有料）の対象である小型電子機器を回収しています。

回収の条件

- ・ 25cm×15cmの投入口に入る大きさの小型電子機器
- ・ 個人情報は消去してください

設置場所

市役所本庁舎
市民総合センター
緑が丘出張所
残堀・伊奈平地区会館
中藤地区会館
三ツ木地区会館
大南地区会館



リネットジャパン

パソコンは、市では収集できません。メーカーに問い合わせるか、市と提携している「リネットジャパン」に収集を依頼してください。リネットジャパンでは、パソコンと一緒に、使用済み小型家電の回収も実施しています。

申し込み

インターネットから、リネットジャパンのホームページへアクセスし、申し込み下さい。

ファックス申し込みの場合は、ごみ対策課窓口でファックス様式を配布しています。

詳細・申し込みは
こちら >>



使用済インクカートリッジ 回収ボックス

一部メーカーのインクカートリッジ（純正品）を、インクカートリッジ回収ボックスで回収しています。

設置場所

市役所本庁舎
市民総合センター
緑が丘出張所
残堀・伊奈平地区会館



乾電池 回収ボックス

市内の施設等に設置した乾電池回収ボックスで、乾電池や破損した充電式電池を回収しています。

主な設置場所

市役所本庁舎
雷塚地区会館
中藤地区会館
大南地区会館
残堀・伊奈平地区会館
公民館さいかち分館
緑が丘出張所
福祉会館など

設置場所情報の
確認はこちら >>



ごみ対策課からのお願い

木材・木でできた製品は可燃ごみ[🍃]又は粗大ごみです

最近、カレンダーの「古紙等」の日に、剪定枝ではなく木材を出されている事象が散見されています。下図フローチャートを参考に、枝や木材の正しい分別にご協力をお願いします。

剪定枝

竹・笹・シュロ・イチョウ・松の枝
長さ 50cm 未満かつ太さ 10cm 未満 → 可燃ごみの日に排出（注）
長さ 50cm 以上 1m 未満又は太さ 10cm 以上 40cm 未満 → 粗大ごみ（要予約）

竹・笹・シュロ・イチョウ・松以外の枝
長さ 50cm 未満かつ太さ 10cm 未満 → 枝（古紙等）の日に排出（注）
長さ 50cm 以上 1m 未満又は太さ 10cm 以上 40cm 未満 → 粗大ごみ（要予約）

注・ひもでしばるか袋（透明・半透明）に入れる、1度に3束（袋）まで収集

木材や木材でできた製品

最長辺が 50cm 未満 → 可燃ごみ（指定収集袋・緑[🍃]）
50cm 以上 → 粗大ごみ（要予約）

粗大ごみの電子申請システムが新しくなりました!

申し込みはこちら >>



【操作方法①～⑧】

① 画面の注意書きを確認し、「次の画面へ進む」をクリック

② 「必須」欄を入力して、「次の画面へ進む」をクリック

③ 収集の希望日を選択したら、「次の画面へ進む」をクリック

申請日の7日後から21日までの範囲で、3つまで選択できます。

④ 品目を選択します。

2個目の入力を「あり」と選択すると、2つ目の品目を選択することができます。
※最大5つまで選択可

⑤ 全て選択後、「次の画面へ進む」をクリック

⑥ 案内画面を確認し、「次の画面へ進む」をクリック

⑦ 今までに入力・選択した情報が表示されますので、誤りが無いか確認します。

この時に、申し込んだ品目の料金を控えておいてください

⑧ 問題無ければ「送信」をクリック

申し込みは以上です。別途、ごみ対策課から収集日を記載したメールを送信します。

粗大ごみになる前に、リユースも検討を!



市のホームページは << こちら

発行 武蔵村山市環境部ごみ対策課 〒208-8501 武蔵村山市本町一丁目1番地の1
TEL 042-565-1111 (内線 292・293) FAX 042-563-0793

https://www.city.musashimurayama.lg.jp

